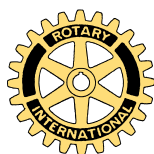


THE ROTARY CLUB OF KARIYA



Weekly



2018～2019年度 国際ロータリー バリー・ラシン 会長テーマ

BE THE INSPIRATION インスピレーションになろう

 創立 1954年3月8日
 承認 1954年3月30日

 例会日時 毎週月曜日
 12:30～13:30
 例会場 刈谷市新栄町3の26
 刈谷商工会議所内
 事務所 TEL <0566>22-2111
 FAX <0566>25-2111
 メール kariyarc@katch.ne.jp
 ホームページ http://www.kariya-rotary.com
 会長 鈴木 文三郎
 幹事 豊田 貴久
 会報委員長 磯部 一智

この会報は、地球環境保全に考慮し再生紙を使用しています。

第3037回例会プログラム

[当年度=22回目；当月=3週目]

2019年（平成31年）1月21日(月)

1. 例会……………〈司会：プログラム委員会〉

- 12:28 1. チャイム
 12:30 2. 点 鐘……〈会 長〉
 3. 開会宣言
 4. ロータリーソング斉唱
 ……それこそロータリー
 5. 講師・ゲスト並びにビジター紹介
 6. 食 事

- 12:45 7. 会長挨拶並びに会長報告
 8. お祝い
 （誕生日祝・結婚記念日祝・入会記念日祝）
 9. 幹事報告
 10. 出席報告
 11. 委員会報告
 12. ニコニコボックス報告
 13. 次週並びに次々週のプログラムの予告
 (1/28) ……

クラブフォーラム（研修情報委員会）

卓話 「愛知教育大学の教育」

講師 国立大学法人愛知教育大学

教育・学生担当理事 中田 敏夫 様

（紹介者 兵藤 文男 会員）

※第2四半期皆出席の発表（出席委員会）

(2/3) ……

65周年記念事業「めざましクラシックス in 刈谷」

13:30～13:45 例会（403・404号室）

※食事はありません

15:00～開演（14:30開場）大ホール

於：刈谷市総合文化センター

※2月4日（月）の例会変更分です。

13:00 14. 本日のプログラム

卓話 「元気で幸せを実感できるまちの実現を目指して」

講師 刈谷市長 竹中 良則 様

（紹介者 野村紀代彦 会員）

15. 謝 辞

16. 点 鐘 ……〈会 長〉

17. 閉会宣言

13:30 18. 散 会

ゲ ス ト

刈谷市企画財政部広報広聴課

秘書係係長 佐藤 圭一 様

出 席

会員総数 97名 出席免除 25名

出席義務者+免除者の内例会出席者 92名

欠 席 9名 出席率 90.21%

前々回（12/20）の修正出席率 100%

会 長 報 告

- 1) 1月19日（土）、豊田カントリークラブにて1月ゴルフ同好会を開催致しました。グロス95、ネット72.2にて、山下雅則会員が優勝致しました。
 2) 加藤哲也会員にベネファクターの感謝状とバッチが届きました。



- 3) 国際ロータリーよりマルチプル・ポールハリス・フェロー3回の認証ピンバッチが鈴木文三郎会員に届きました。



幹事報告

- 1) 本日例会終了後に事務局にて65周年実行委員会を開催しますので、関係の方はご参加をお願いします。
- 2) 来週の例会はモグモグタイムとして、例会前より昼食をとって頂きますのでよろしくお願いします。

委員会報告

●65周年実行委員会

65周年実行委員会からの報告です。

- 1) 本日チケットをお配り致しました。枚数等をご確認をお願い致します。
- 2) 皆様のご協力のおかげで、1階席はほぼ完売致しました。ありがとうございました。
- 3) 各委員会の役割は明日までに各委員長にお知らせ致します。各メンバーの役割は委員長よりお伝え致します。クラブ奉仕委員会に属する委員会メンバーの方は役割があります。当日の集合時間12時から12時30分になります。

会長あいさつ

鈴木文三郎



本日は、竹中良則刈谷市長による卓話です。

今から153年前の今日1866年、慶応2年1月21日京都の小松帯刀邸で「薩長同盟」が締結されました。

元々薩摩藩は、公武合体の立場から幕府の開国路線を支持しつつ、幕政改革を求めたのに対して、長州藩は急進的な破約攘夷論を奉じて反幕姿勢を強めるなど両者は相容れない立場にありました。

元治元年の禁門の変で両者は戦火を交え、長州藩は朝敵となりました。一方で薩摩藩も幕政改革の展望が開けず、大久保利通や西郷隆盛らを中心に幕府に対する強硬論が高まっていきました。

坂本龍馬や中岡慎太郎の斡旋もあって、慶応2年1月21日、京都の小松邸で薩摩藩の西郷、小松と長州藩の木

戸貫治が6か条の同盟を締結しました。

この薩長同盟がきっかけとなり、大政奉還、明治維新へと繋がっていったとされます。

一方で薩長同盟から遡ること3年、文久3年8月17日に吉村寅太郎や刈谷藩出身の松本奎堂ら尊王攘夷派浪士の一団「天誅組」が公卿中山忠光を主将として大和国で決起しました。

天誅組の蜂起は、幕府に対する尊王攘夷派の初めての武力蜂起という点で画期的なものであり、挙兵自体は短期間で失敗に終わったものの、幕府領支配の拠点である陣屋や、小大名とはいえその居城が公然と襲撃されたことは、幕府に大きな衝撃を与え、幕府の威光の失墜を更に進行させる結果となりました。時代の魁になったことは間違いありません。

薩長同盟の話から天誅組の話へと話題が転じましたが、今年の3月24日に開館する「刈谷市歴史博物館」では、天誅組に関する展示もあると聞いています。その他にも、縄文期から始まる刈谷の歴史、水野藩を中心とした幕藩時代の歴史、豊田自動織機を始めとするトヨタグループを誘致してからの近代の歴史展示や郷土の偉人に関する展示そして、万燈祭りを始めとする刈谷の祭りの展示もあるそうです。

実は3月24日の開館日の翌日、3月25日に刈谷ロータリークラブの例会としてオープン直後の「刈谷市歴史博物館」を見学させていただくことになっています。竹中市長には、格段のご配慮を賜り、ありがとうございます。

当日は、石田退三氏の寄附によって改築された、亀城公園内の十朋亭での例会と花見も予定していますので、会員諸兄におかれましては、是非ともご参加をお願いいたします。本日の会長挨拶といたします。

お祝い

1月の会員の誕生日…神谷光義、原田光二、橘典子、岡本巧、兵藤文男、小川耕示、石川泰隆会員。

配偶者の誕生日…坂貞子（茂）、杉山恵美子（欣輝）、原田トモ子（光二）、杉浦眞佐子（世志朗）、鈴木ゆかり（文三郎）、小澤敏子（陽一）、堀田みゆき（昌義）、石川将典（友美）、石川愛（泰隆）、新海好美（伸二）、玉川ひとみ（愛朗）、中川久子（耕児）様。

結婚記念日…池田憲司、加藤哲也、杉浦芳一、角谷広高、吉岡秀記会員。

1月度入会記念日…杉浦世志朗、鈴木文三郎、下谷敏朗、加藤大志朗会員。

**「元気で幸せを実感できるまちの実現を目指して」
刈谷市長 竹中 良則 様**

皆様こんにちは。竹中
でございます。

私は、市長就任以来、
「元気で幸せを実感でき
るまち」の実現を目指し
て各種施策に取り組ん
でまいりました。現在、平
成27年の市長就任時に市

民の皆様にお約束した、マニフェストを実現するために
具体的に定めた「まちづくりプラン」に従って市政を進
めております。「まちづくりプラン」では、5つの分野
を柱としながら、各分野が相互に関連し、1つ1つが単
独で効果を発揮するのではなく相乗的に発揮できるよう
な視点から施策を決定、遂行しております。

本日は、「まちづくりプラン」から各分野別に主な事
業を紹介しながら、現在の刈谷市の状況を知っていただ
けたらと思います。

まず、1つ目としまして、「都市環境分野」でございます。

初めに、「スマートインターチェンジの設置」であり
ます。

刈谷ハイウェイオアシスへのスマートICの設置につ
きましては、関係機関との調整や準備会による議論をお
こなってまいりました。

一昨年8月に国土交通省より、「高速道路と刈谷市道
との連結許可」をいただき、今年度から全面的に工事に
着手したところでございます。平成33年度末に工事完了、
供用開始を目標として進めております。また、周辺道路
も合わせて整備し、より一層の整備効果が得られるよう、
事業の早期完了に向けて、今後も引き続きスピード感を
持って、事業を推進してまいります。

次に「銀座 AB 地区整備事業」であります。

本事業は、民間活力により商業施設に、社会福祉施設
と住居を備えた複合施設として平成27年から整備が進め
られております。

昨年8月からは住居部分の販売が開始されております。
建物は28階建で高さが95mとなり市内で一番高い建物
となる見込みです。1、2階部分には商業施設、社会福
祉施設が整備されます。また隣接して認可保育所が整備
されます。

現時点では、商業施設としてスーパーマーケットと
ベーカリーカフェが入り、福祉施設としてはデイサービ
ス施設が、また認可保育所としては民間保育園が平成32
年4月の開園を予定しております。平成32年3月工事完
了に向け、引き続き事業推進を図ってまいります。

次に「刈谷駅北地区整備事業」であります。

本事業は1日約9万人が利用する刈谷駅の北口エリア
において、民間活力に加え市有地も活用し、まちづくり
の交流拠点として、商業施設、オフィス、住居を備えた
複合施設の整備するもので平成28年より進められており
ます。

昨年6月より既設建物の撤去、10月の起工式を経て、
建物工事に着手しました。昨年9月から住居部分の集客
が開始されております。建物は21階建となり、低層部
には商業施設等を、中層部にはオフィスが整備され、8階
から上は住居となります。刈谷駅南北連絡通路からデッ
キにより直結された建物となります。

平成33年5月工事完了を予定しております。

次に「刈谷市駅前における市街地再開発事業」であり
ます。

刈谷市駅周辺について、かつてのまちのにぎわいを取
り戻すことを目的として、平成28年度より刈谷市駅商店
街の方々が中心となり、関係権利者と勉強会等を行い再
開発に対する地元の機運を高めてまいりました。

その結果、昨年4月に「名鉄刈谷市駅前地区市街地再
開発準備組合」が設立され、再開発実現へ向けて検討会
等を行っております。

検討区域としては、主要地方道知立東浦線の南側で、
刈谷市駅西側の県道半城土広小路線沿線が区域となりま
す。まずは「平成33年度、本組合設立」を目標に活動に
取り組んでおり、これからの刈谷市における賑わいの創
出のため、全面的にバックアップしてまいります。

2つ目としまして、「教育文化分野」でございます。

教育現場における熱中症対策として、本市では昨年度
中に全中学校の普通教室等へ空調設備の設置を終え、今
年度は小学校の普通教室等への設置を進めております。

来月から現場で稼働できる見込みであり来年の夏に備
え、学習環境の向上が図られました。各学校には災害発
生時に避難所の役割も求められます。避難所としての機
能が強化されたこととなり、災害対策の面からも望まし
い結果となりました。

3つ目としまして、「産業振興分野」でございます。

はじめに、「工業用地の確保」についてであります。

市内への工場立地需要の高まりを受け、将来的な工
業用地として位置付けられている伊佐美地区の約58ha
のうち、15haを先行開発区域と位置づけ、愛知県企業
庁を事業主体として、平成34年度の方譲開始を目指し、
整備を進めているところであります。

工業用地造成、企業への分譲に関しましては、愛知県
企業庁により実施される予定であります。市といたし
ましても関連事業について、共同で進めてまいります。

次に、中小企業支援としまして補助制度の紹介です。

「小規模企業者設備投資促進補助事業」は、従業員数
が製造業であれば20人以下、商業・サービス業であれば
5人以下の市内小規模企業者に対し補助するものです。

補助の対象としては、対象期間内における設備等の取

得価額が通算で300万円を超える場合に、愛知県が認定する「経営革新計画に基づく設備更新」については10%を、それ以外の設備更新については、5%の補助を行い、限度額は500万円です。

「創業者支援事業」は、刈谷商工会議所と連携して市内の創業者に対し、事業計画の作成の支援や創業時に必要な初期費用の一部を補助するものです。

補助の対象としては、「事務所賃借料」、「法人登記等に係る費用」及び「販売促進に係る費用」で、補助率は全て50%、限度額はそれぞれ60万円、15万円、25万円です。利用には、開業前に刈谷商工会議所の支援のもと、事業計画書を事前に作成し、市から補助事業として認定を受ける必要があります。

4つ目としまして、「福祉安全分野」でございます。

はじめに、「防犯カメラの設置推進」であります。今年度、計画通り230台設置し、寄贈された2台を含め目標の1,000台を超える1,162台の設置を完了しました。近年の刑法犯の認知件数の推移を見ますと、平成24年度を100とすると、平成29年度では55.2ポイントと、平成24年度からほぼ半減となりました。

カメラの設置だけが要因ではありません。地区における地域安全パトロール隊による見回りなど、警察も含め官民一体となった取り組みの成果であります。今後は防犯カメラ設置地区の看板により積極的アピールして、犯罪の未然防止につなげてまいりたいと考えております。

次に「待機児童対策」でございますが、民間保育所の設置に対する補助を行い、定員拡大を図っております。昨年もお話ししましたが、昨年4月に高須町と池田町にそれぞれ民間保育所が開園し、計225名の定員拡大となりました。

また、公立保育園4園について、0～2歳児の保育に特化した乳児型保育園への移行を進めており、保育需要の高い乳児の受入れ人数を拡大し、待機児童の解消を図ってまいります。3歳児以降の受け入れ先としては、幼稚園で通常保育時間外の「預かり保育」を充実させることにより対応します。

今年度から幼稚園3園で、朝は7時30分から、夜は18時30分までの保育園並みの預かりを開始しており、昨年12月の段階で合計63人が利用しています。新年度からは対象園を8園に拡大する予定です。

なお、平成19年以降の保育園定員の推移ですが、民間保育園5園の新設に対する支援のほか、公立保育園の定員見直しを行い、計927人を増員しました。

今後とも、幼保が一体となって待機児童ゼロを目指してまいります。

次に高齢者福祉でございます。

刈谷市では、本年度から3カ年を期間とした「第7期刈谷市介護保険事業計画・高齢者福祉計画」をスタートさせました。

この計画では、高齢者が住み慣れた地域で、自分らし

い暮らしを最後まで続けられる「地域包括ケアシステム」の構築を目指し、重点目標を「住み慣れた地域での支援体制づくり」としています。

「地域包括ケアシステム」は、高齢者に関わる住まい、医療、介護、生活支援、介護予防が、日常生活圏域内で連携し、その調整を主に地域包括支援センターが担う仕組みです。本市ではこの実現に向けて、4つの重点施策を掲げています。

まず、「在宅医療・介護連携の推進」として、ICTの活用により、医療・介護関係者の連携環境を整備し、スムーズにサービスが受けられる体制を構築します。

2番目に、「認知症施策の推進」として、認知症サポーター養成講座の継続と、医者や社会福祉士などの専門職がアプローチする認知症初期集中支援チームを設置など、認知症の方やその家族が地域で安心して暮らせるようにしてまいります。

3番目に、「生活支援・介護予防サービスの基盤整備の推進」としまして、地域サロン活動などの充実と、口腔機能向上にかかる活動の推進など、介護予防の取り組みを進め、高齢者の健康づくりを支援してまいります。

最後に、「地域包括支援センターの機能充実」として、現在市内4カ所に設置するセンターでは、高齢者の状態把握や相談などの取り組みを行っています。今後は、新たに2カ所を増設し、利便性の向上と、安心・安全の確保に寄与してまいります。

最後5つ目としまして、「計画推進分野」でございます。

刈谷市では、昨年3月に株式会社デンソー様と包括連携協定を締結し、デンソー様が持つ情報配信技術を活用したスマートフォン用アプリを開発しております。このアプリでは、防災や子育て、暮らし、催しなど、利用者が希望するジャンルの情報が最適なタイミングで配信される仕組みとなっております。

また、位置情報を活用し、最寄りのバス停や公共施設などを検索する機能なども搭載する予定です。

次に、無料公衆無線LAN、「KARIYA FREE Wi-Fi」を順次整備していきます。昨年度は総合文化センターをはじめ3施設、今年度はハイウェイオアシスをはじめ5施設への整備を進めております。またキャッチネットワークの協力により、現在市内約150カ所の店舗等にて「KARIYA FREE Wi-Fi」を利用することができます。

利用の際に表示される接続時の専用ページを活用し、刈谷市の魅力を情報発信します。また台風等の災害発生時には、キャッチネットワークの「キャッチ災害情報サイト」を表示させ、碧海5市及び西尾市の災害情報も合わせて確認できる他、鉄道をはじめとした交通情報も確認可能となります。今後とも利用可能場所を拡大してまいります。

以上、「元気で幸せを実感できまち」の実現に向けた現在の取組状況につきまして、お話しさせていただきました。

今後とも引き続き、皆様の一層のご支援とご協力をお願いいたします。ご清聴ありがとうございました。

1 月度刈谷 RC ゴルフ例会

平成31年 1 月19日(土)

於：豊田カントリー倶楽部

成 績	氏 名	G	H	N
優 勝	山下 雅則	95	22.8	72.2
2 位	盛田 豊一	86	13.2	72.8
3 位	出口 達也	95	21.6	73.4
B B	鈴木 豊	108	25.2	82.8

